

令和7年度「障害のある人の生活と福祉に関する調査」結果（概要版）

1. 目的

この調査は、滋賀県内の障害者手帳（3障害）および特定医療費（指定難病）受給者証所持者の生活実態を把握し、次期障害者プラン等の基礎データとすることを目的とする。

2. 調査の概要

- (1) 基準日 : 令和7年5月1日
- (2) 調査期間 : 令和7年9月16日～10月7日
- (3) 調査対象者 : 県内に居住し、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳および特定医療費（指定難病）受給者証の交付を受けている者
- (4) 回収率 : 44.0%（回収数 1,783 件）（前回値：39.3%（回収数 1,595 件））

3. 回答者のプロフィール

■各属性の上位2位までは以下のとおり(N=1,783)

属性	1位		2位	
性別	「男性」	53.1%	「女性」	44.9%
年齢	「70～79歳」	16.5%	「60～69歳」	15.4%
居住地	「大津市」	28.5%	「草津市」	7.7%
住まい	「持ち家」	74.8%	「賃貸住宅」	10.5%
同居者 <small>※複数回答</small>	「配偶者」	38.0%	「父母」	33.9%
職業	「無職」	32.9%	「非正規職員」	12.2%

（※無回答を除く）

4. 回答者の手帳等所持状況（※重複含む）

- ・ 身体障害者手帳：874名、療育手帳：503名、精神障害者保健福祉手帳：451名
- ・ 特定医療費（指定難病）受給者証：104名

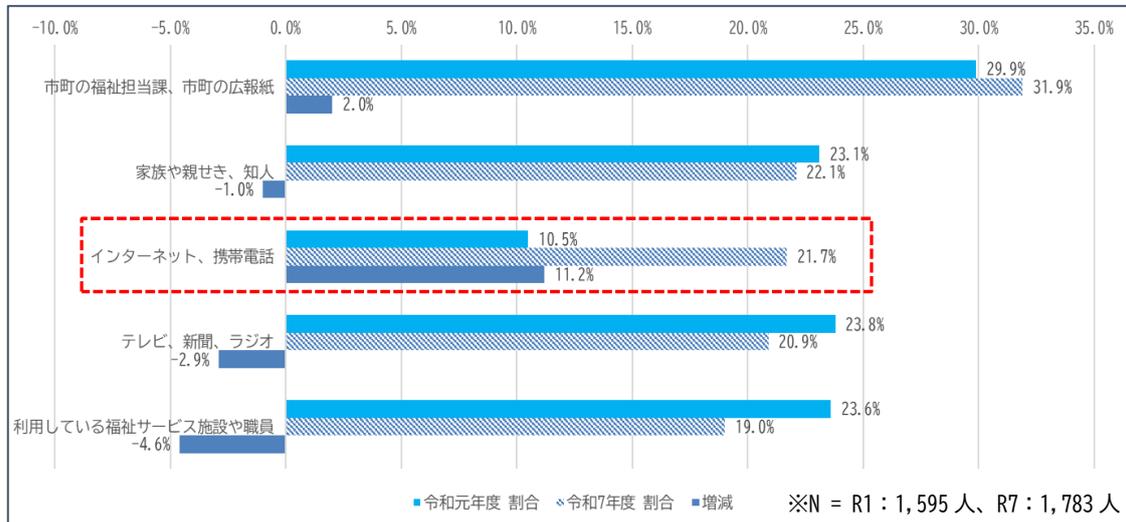
5. 調査結果について

（ポイント）

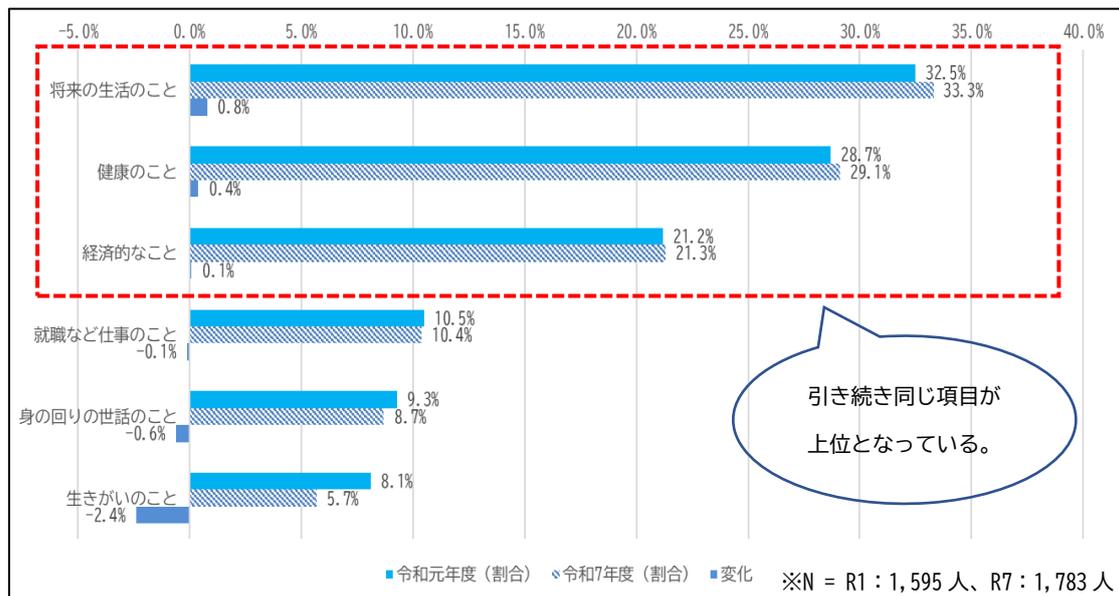
- スマホ等の普及により、インターネット等を活用した情報取得が進む一方で、依然として、自治体の広報誌に高い信頼が置かれている（問34）。
- 最近相談したいと思ったことについては、令和元年度調査と同様に、「将来の生活のこと」「健康のこと」「経済的なこと」の3つが上位となった（問39）。
- 今後行政に取り組んでほしいこととして、「成年後見制度や権利擁護事業の充実」が、令和元年度と比較して、15.3%上昇と高い伸びを示した（問49）。

5. 参考データ

問 34 福祉サービスの情報入手方法（複数回答）



問 39 最近相談したいと思ったこと（3つ以内で複数回答）-上位項目-



問 49 今後、行政に取り組んでほしいこと（複数回答）

項目名	令和元年度	令和7年度	変化
成年後見制度や権利擁護事業の充実	12.2%	27.5%	+15.3
障害を理由とした差別を受けた際の相談機関の充実	16.6%	26.5%	+9.9